

GABAの生理機能 その6-免疫能に及ぼす影響

○堀江 典子、堀江 建二、早川 潔¹、横越 英彦²、八田 一³、金 武祚（ファーマフーズ研究所、¹京都府中小企業センター、²静岡県大・食栄科、³京都女大・食物栄養）

【目的】

昨年度本大会では“吊橋によるストレス負荷試験”を実施し、GABA高含有食品素材『ファーマギャバ』がストレスによる免疫能の低下を抑制する機能を見出し報告した。今回はストレス負荷無の状態でのGABAを摂取した際の免疫能亢進（免疫賦活能）効果について報告する。

【方法】

ウィスター系雄ラット（体重100g前後）を用いてファーマギャバ（GABAとして100mg/100g体重）を単回及び連続投与（約2週間）し、血中IgG量の変動を調べた。又健常人（20名程度）のボランティアを対象にファーマギャバ（GABAとして200mg/1回）服用してもらい、摂取前と摂取後（90分）の唾液中IgA量の変化についても検討を行なった。更にGABAを摂取した際の各種血液学成分について検討した。

【結果】

健常人ボランティアにGABAを摂取させたところ、経時的に唾液中のIgA量の上昇が認められた。前演者らは、GABAのスポーツ食品への可能性について報告したが、スポーツ選手の免疫能向上に対する効果についても期待できると考えられる。

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・